

【栃木県】自治医科大学腎泌尿器外科学講座



全国の医学生・初期研修医の皆様、こんにちは。自治医科大学 腎泌尿器外科学講座主任教授の藤村哲也です。私のセールスポイントはロボット支援根治的前立腺全摘除・腎部分切除術・根治的膀胱全摘除術1,000例を超える経験です。“1000例を20例で伝える”を目標に日々、若い先生に技術の伝承を熱心に行っています。



レジデントのロボット支援手術実施風景

例えば、泌尿器科ロボット支援前立腺全摘除術 (RARP: robot assisted radical prostatectomy) では“60分でできるRARP”を目標に術者、助手の手術工程別の役割を記した音声入り動画マニュアルを基本編とし、複雑な症例に対する応用編などのビデオクリップを多数共有し学習環境の整備を行っています。またこれまで浸潤性膀胱癌に対する膀胱全摘除術は手術時間が長く、出血量も多いというイメージでしたがロボット手術の導入で大きな変革を迎えています。“4時間でできるロボット支援膀胱全摘除術、完全腔内尿路変更術”も作成し、RARPを習得後の教育も充実しています。当院ではロボット支援手術を年間で約200例実施しており、前立腺癌だけでなく、腎癌、膀胱癌、骨盤臓器脱、腎盂尿管移行部狭窄症なども実施しており症例が比較的豊富にあります。さらに、ロボット手術のシミュレーター Mimicとda Vinciサージカルシステムによる定期的な実機練習が行えるため、効率的なトレーニングが可能です。

また、ロボット手術の他にも私共の講座の全国に誇れる特徴は、成人泌尿器科、小児泌尿器科、腎移植と幅広く対応しているところです。成人泌尿器科では、腎・尿管・膀胱・前立腺・精巣の癌、前立腺肥大症や神経因性膀胱などに伴う排尿障害、男性不

妊症、尿路性器感染症、尿路結石、副腎、後腹膜疾患などの診断・治療を精力的に行っています。

停留精巣、水腎症、夜尿症、膀胱尿管逆流などの小児泌尿器疾患に関しては、自治医科大学とちぎ子ども医療センターにおいて小児泌尿器専門医が診療にあたっております。

腎臓外科学部門では腎移植、腹膜透析カテーテル留置術、シャント造設術などの腎不全領域の治療を行っています。このようにひとつの講座が、臨床において三つの診療ユニットに分かれ、有機的な連携をもった研修システムは国内に類をみません。そのような利点を生かして、腎泌尿器外科学分野において最先端の医療を研修することが可能で、将来様々な分野で活躍できるスペシャリスト育成を目指しています。

基礎的研究では次世代シーケンサーを用いて難治性前立腺癌に関与する遺伝子発現および機能解析、腎細胞癌に対する遺伝子治療、蔘酸カルシウム結石産生抑制機序の解明、尿路再建における再生医学などの研究を行っています。

平成24年度完成したレジデントハウスは完全個室で冷暖房、洗濯機、冷蔵庫、インターネット回線が完備され、さらに駐車場、スポーツジムも敷地内であって家賃1万円台と充実しています。東京都の上野駅から50分、東北新幹線の小山駅でJR宇都宮線に乗り換えた二つ目の自治医大駅にあり、東京・横浜で開催される学会にも容易に参加できます。

日本泌尿器科学会からの資料では栃木県での泌尿器科専門医数は88名で、人口1,000人に対し0.045と全国47都道府県の中で38番目であり泌尿器科専門医が大変不足しています。ぜひ、栃木県で泌尿器科専門医として一緒に活躍しましょう。

大学院に進学し課程博士はもちろんのこと、私も論文博士ですが、大学院へ進学せず、英語論文執筆にて医学博士となる体制も取っています。ぜひ、後期研修に自治医科大学 腎泌尿器外科学講座にお越しください。明るく、元気に働くスタッフ一同お待ちしております。

見学随時実施しています。お気軽に腎泌尿器外科学まで <urology@jichi.ac.jp> メールください。HP : <http://www.jichi.ac.jp/uro/index.html>

ロボット支援手術実績



2018年に実施したレクリエーション